

バカのカベ〜フランス風〜(加藤健一事務所)

# 言わせて! 今日の芝居

◎五十字劇評 No.10

毒が効いて、久しぶりに笑いをこらえるのが大変でした。芸達者な俳優陣に乾杯!

(男性)

## 【五〇代】

「人」をバカにするという事は、「自分」もバカにされるといふ事。常識・正義・道徳もフランス風喜劇に!

(女性)

## 【六〇代】

加藤健一、風間杜夫、うまい俳優から感じる舞台上の息づかいは一と味違う。どれ程の感受性が必要なのだろう。

(男性)

置かれた状況も相まって、物の感じ方や考え方の根底、近づきたくないと思っていた、心の奥底を垣間見るきっかけとなった芝居だった。

(男性)

## 【四〇代】

バカを笑いのものにしていた本人が一番のバカなのか?どっちがバカなのか、大笑いさせてもらいました。

(女性)

笑い続けた2時間。終わって見たらもう2時間。続きを演じてと願ってもむり。風間さんと加藤さんの掛け合いや間合いが絶妙。

(男性)

人を笑い者にして楽しむ悪趣味の夫に腹立つ妻に共感しつつも、「バカ」扱いされるゲストの言動にイラッとくるのも確か。笑いと苛立ち、そして天罰?風間杜夫さんの演技に感動。生のお芝居ってやっぱりいいね!

(女性)

久々に心から笑った気がします。加藤健一さんのお芝居で、こんなにも笑えるものがあるとは知りませんでした。最後まで笑いながら観ていて、ふと自分も他の人から見れば、あの人はバカよと言われているのではないかと考えていました。

(女性)

沢山笑った。芝居の人生訓的テーマを見出そうと、バカのカベの「壁」とは何か考えたがわからない。私もバカ?

(女性)

久し振りに抱腹絶倒、大声を出して笑いました。さすがベテラン俳優の二人の息もピッタリで客席も盛り上がり、加藤さんも嬉しそうで良かったです。

(女性)

誰がバカなのか?真面目に世話すると裏目になる面白さ。口角あがりっぱなし。人をバカにしてはいけないね。

(女性)



笑いがこぼれるお芝居ではありませんが、その底流には人間関係が深く絡み合っていて生きている人生模様が見えてきます。今まで当たり前だと思っていたことが崩れそうになったとき、それとどう向き合っていくのか。それは社会に対しての向き合い方とも通じるものがあると思うのですが…

(男性)



【六〇代】

加藤健一さんの芝居が一番。前半は風間さんのピエールのイライラに同感。でも、最後はカトケンさんのフランソワにメルシー。最後は『バカのカベ』を越え二人が理解しあえてメデタシ!! (男性)

脚本を読み、台詞のテンポを想像し、期待に胸ふくらませての例会！深く読みとる力が私に必要なことを悟る!! (不詳)

楽しかったー！久々に笑った。新しく入会してくれた人も、このお芝居ですっかりはまってくれたようです。 (不詳)

ピエールとフランソワの息がピッタリ、テンポよいせりふに大爆笑、こんなに笑ったのは久しぶり。コメディは理屈ぬきで楽しい。 (不詳)

【七〇代】

満席の会場に心からの笑い声が続き楽しい舞台を堪能しました。エスプリの効いた笑える芝居一年に一度良し!! (女性)

三〇年観劇しています。今迄こんなに笑ったことあったかな？ここ半月、私生活でつらかったことがチャラに。♡ありがと♡ (女性)

編集スタッフから

今日のお芝居いかがでしたか。生の声がある、空気を共有できる旭川市民劇場です。今日の感想を一言お寄せ下さい。誰かに伝える心地よさを感じて下さい、次回の例会が倍楽しみになります。待ってます！

50字劇評「言わせて！今日の芝居」に投稿を！

ここは、会員が「芝居を自由に語る場」です。率直な感想をお寄せください。

署名 “不詳”です。ただし、編集の都合上、「男女」・「～歳代」だけは記入を！

字数 “50字”です。多くの会員の声を掲載したいからです。ご理解を！

締切 7月31日(金)

送付方法

メール: asa.gekijo.gekiyou@gmail.com  
(劇評専用アドレス)

FAX: 0166-23-1645  
(市民劇場 FAX: 劇評担当宛)

郵送・持参: 〒070-0033  
旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館 2F  
旭川市民劇場 劇評担当宛



劇評 QRコード

(郵送・FAX・持参の場合、原稿用紙・便せんなど、どんな用紙でも結構です。)